

# 高知県感染症発生動向調査(週報)

2011年第7週[2月14日～2月20日]

高知県衛生研究所 高知県感染症情報センター  
 TEL:088-821-4961 FAX:088-825-2869  
<http://www.kenkou.med.pref.kochi.lg.jp/eiken/>  
 E-mail: kansen@ken4.pref.kochi.jp

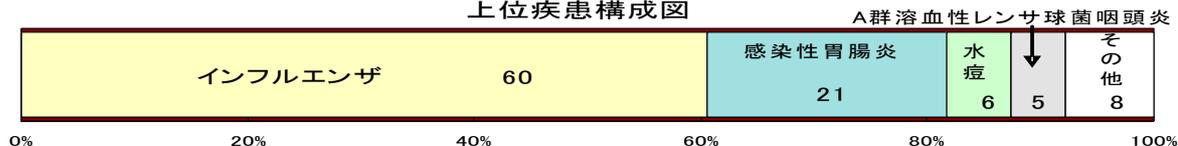
## 県内情報

### ○ 患者情報総評

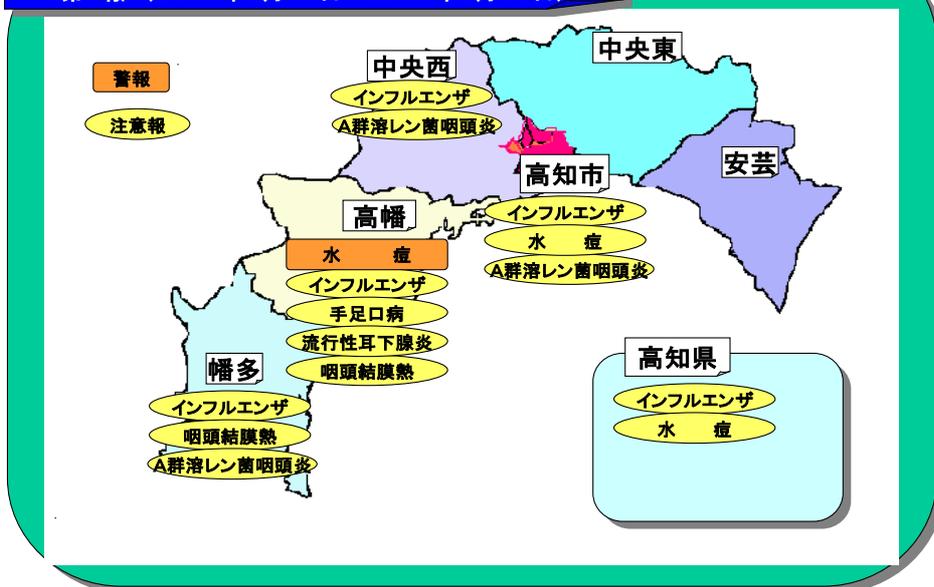
#### 注意報発令疾患：インフルエンザ，水痘

- ・ 晴れの日が続いていたが、今週は雨の降る日もあり、湿度・気温ともに上昇している。
- ・ インフルエンザ（幡多：注意報→注意報，高幡：注意報→注意報，中央西：注意報→注意報，高知市：注意報→注意報）は幡多で増加したが，その他の地域で減少し，総数は引き続き減少した。
- ・ 感染性胃腸炎は中央東でやや増加したが，その他の地域で減少し，総数は減少した。しかし，例年3～4月にかけては小流行がみられており，今後も注意が必要である。
- ・ 水痘（高幡：注意報→警報，高知市：注意報）は安芸と中央西で減少したが，その他の地域で増加または横ばいとなり，総数は前週の約1.3倍に増加し，再び注意報値を超した。高知市では注意報値を超し，高幡では警報値を大幅に超す流行となっている。
- ・ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎（中央西：注意報，幡多：注意報→注意報，高知市：注意報）は中央医療圏で大幅に増加し，総数は前週の約2倍に増加した。

上位疾患構成図

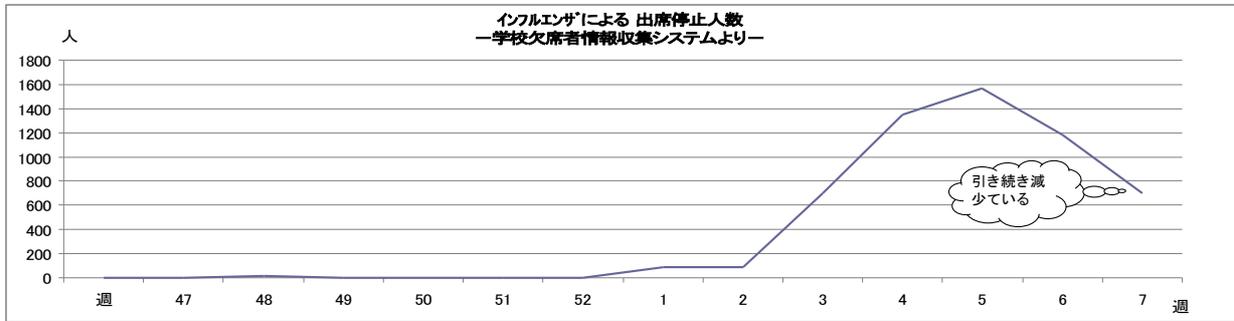
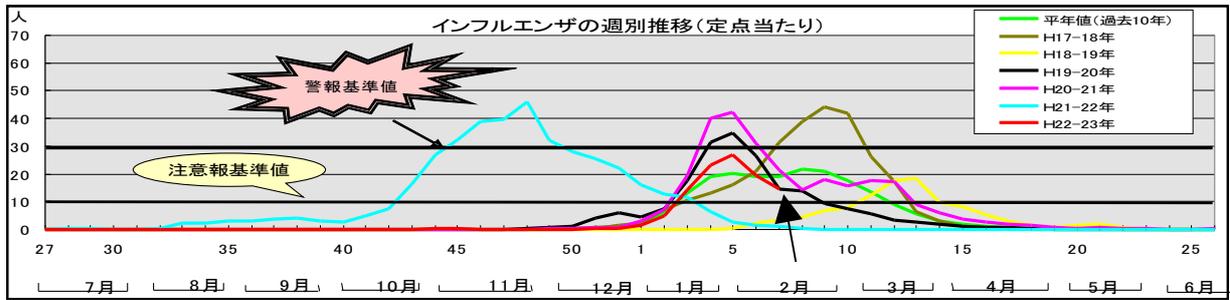


## 地域別感染症注意報・警報発生状況 第7報（2011年2月14日～2011年2月20日）



### インフルエンザ：今週 14.65（注意報値：10.00 警報値：30.00）

総数は前週に引き続き減少し，安芸と中央東では注意報値を下回り，今冬シーズンの流行のピークは過ぎたと思われる。しかし，幡多ではさらに増加し，警報値に迫る報告数となっている。年齢別にみると，5～9歳が32.7%，1～4歳が18.2%，10～14歳が12.7%の順で報告が多い。今週はAH1pdmが19件，Bが1件検出されている。また，施設別発生状況では，2小学校，2中学校で患者数72名となり，学年閉鎖の措置が取られた。総数は減少しているが，地域によっては増加しており，引き続き注意が必要である。



○ 検査情報

週	臨床診断名	患者	地域	ウイルス, 細菌の検出状況
6	感染性胃腸炎	14歳 男	中央東	<i>Campylobacter jejuni</i>
50	感染性胃腸炎	9歳 女	中央東	<i>Adenovirus 3</i>
5	咽頭結膜熱	1歳 男	高知市	<i>Adenovirus 2</i>
5	急性間質性肺炎	1歳 男	中央東	<i>Adenovirus 2</i>
7	インフルエンザ	9歳 男	高知市	<i>Influenza virus B</i>

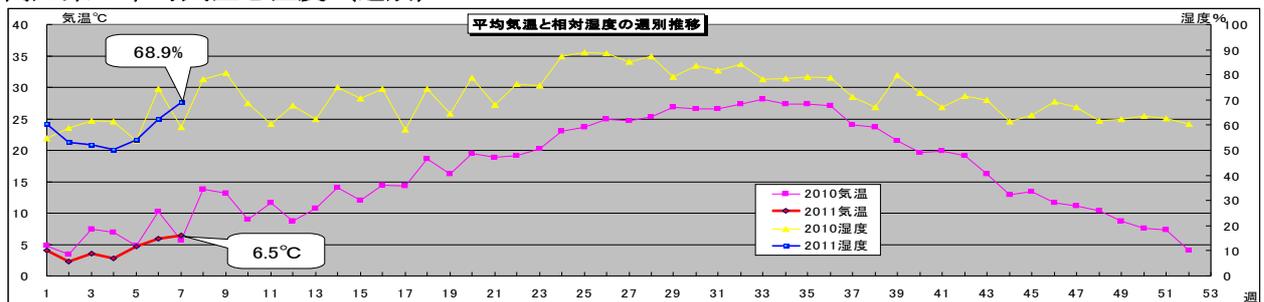
インフルエンザ (Influenza virus AH1pdm)は19件検出された。

地域	年齢区分									総計
	0-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60歳以上	
高知市	3	2								5
高幡		3	2			3	3	2	1	14
総計	3	5	2			3	3	2	1	19

○ 全数報告の感染症情報

2類感染症：結核 5例〔0歳女（無症状病原体保有者），77歳男〕《高知市》（31歳女，77歳男）  
《中央東》（74歳男）《幡多》（今年22例）

○ 高知県の平均気温と湿度（週別）



○ 定点からの地域ホット情報

幡多：

《幡多けんみん病院小児科》：インフルエンザの36例中17例はA型陽性，15例はB型陽性，1例はA・B型陽性

《さたけ小児科》：マイコプラズマ肺炎 1例（6歳男） ヘルペス性歯肉口内炎 1例（6歳女）

インフルエンザの50例中20例はA型陽性，30例はB型陽性

《大井田病院小児科》：インフルエンザの12例中2例はB型陽性

《渭南病院小児科》：インフルエンザの46例中14例はA型陽性（うち予防接種歴ありは2例，なしは8例），32例はB型陽性（うち予防接種歴ありは13例，なしは19例）

アデノウイルス咽頭炎 1例（1歳男） マイコプラズマ気管支炎 1例（2歳女）

《こいけクリニック》：インフルエンザの35例中18例はA型陽性，17例はB型陽性

《幡多けんみん病院内科》：インフルエンザの16例中13例はA型陽性，2例はB型陽性

《松谷内科》：インフルエンザの3例中2例はA型陽性，1例はB型陽性，うち2例は予防接種歴あり

## 高幡：

《もりはた小児科》：インフルエンザの44例中38例はA型陽性、6例（同じ幼稚園）はB型陽性、うち10例は予防接種歴あり  
水痘の流行が続く 感染性胃腸炎はロタウイルスによるものが中心

《須崎くろしお病院内科》：インフルエンザの24例は全てA型陽性

《くぼかわ病院内科》：インフルエンザの1例はA型陽性

## 中央西：

《石黒小児科》：インフルエンザの31例中28例はA型陽性、3例はB型陽性、うち8例は予防接種歴あり

《くぼたこどもクリニック》：インフルエンザの13例中11例はA型陽性、2例はB型陽性、うち2例は予防接種歴あり

《岡本内科》：インフルエンザの11例中1例はB型陽性、うち1例は予防接種歴あり

《土佐市民病院内科》：インフルエンザの25例中1例はB型陽性

## 高知市：

《細木病院小児科》：（第6週）カンピロバクター腸炎 1例（14歳男）

感染性胃腸炎の4例中3例はロタウイルス陽性、1例はノロウイルス陽性

《福井小児科内科》：インフルエンザの12例中11例はA型陽性、1例はB型陽性、うち2例は予防接種歴あり

《けら小児科・アレルギー科》：インフルエンザの41例は全てA型陽性、うち12例は予防接種歴あり

マイコプラズマ肺炎 1例（12歳男） アデノウイルス陽性 1例（2歳男）

《ふないキッズクリニック》：インフルエンザの13例中12例はA型陽性、1例はB型陽性、うち2例は予防接種歴あり

《高知医療センター小児科》：インフルエンザの11例中10例はA型陽性、1例はB型陽性、うち1例は予防接種歴あり

《細木病院内科》：インフルエンザの6例は全てA型陽性、うち予防接種歴ありは3例、なしは3例

《高知赤十字病院内科》：インフルエンザの14例は全てA型陽性、うち予防接種歴なしは4例

《近森病院内科》：インフルエンザの29例中21例はA型陽性、うち予防接種歴ありは3例、なしは11例

《高知医療センター内科》：インフルエンザの3例は全てA型陽性、予防接種歴なし

## 中央東：

《高知大学医学部附属病院小児科》：感染性胃腸炎の1例（6ヵ月女）はロタウイルス腸炎

《吉本小児科皮膚科》：インフルエンザの10例中8例はA型陽性、2例はB型陽性

《あけぼの小児クリニック》：インフルエンザの24例中19例はA型陽性、1例はB型陽性、4例は臨床診断  
マイコプラズマ感染症 3例（5, 32, 45歳）

《野市中央病院小児科》：インフルエンザの1例はA型陽性、予防接種歴あり

《早明浦病院小児科》：インフルエンザの2例はA型陽性、予防接種歴なし

《いちほら内科小児科》：インフルエンザの16例中14例はA型陽性、2例はB型陽性

《JA高知病院内科》：インフルエンザの9例は全てA型陽性

《野市中央病院内科》：インフルエンザの2例はA型陽性

《嶺北中央病院内科》：インフルエンザの10例中3例は予防接種歴あり

## 安芸：

《県立安芸病院小児科》：インフルエンザの13例中5例はA型陽性、予防接種歴なし

《田野病院小児科》：インフルエンザの8例中5例はA型陽性

《県立安芸病院内科》：インフルエンザの2例はA型陽性、予防接種歴なし

## 全国情報第5週（1/31～2/6）（<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>）

2類感染症：結核336例

3類感染症：細菌性赤痢7例、腸管出血性大腸菌感染症12例（有症者4例、うちHUS なし）

4類感染症：E型肝炎1例、A型肝炎19例、チクングニア熱1例、デング熱2例、レジオネラ症6例

5類感染症：アメーバ赤痢11例、ウイルス性肝炎4例（B型3例、C型1例）、急性脳炎6例、クロイツフェルト・ヤコブ病2例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症3例、後天性免疫不全症候群9例（AIDS 3例、無症候6例）、ジアルジア症2例、梅毒7例、風しん1例、麻しん10例

報告遅れ：腸チフス1例、E型肝炎2例、ボツリヌス症1例、マラリア1例、急性脳炎5例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症2例

## ◆インフルエンザ

2010年第42週以降増加が続いていたが、2011年第5週のインフルエンザの定点当たり報告数は28.93（報告数143,035）と前週の報告数（31.88）を下回った。都道府県別では長崎県（44.13）、宮崎県（42.28）、群馬県（41.22）、福岡県（40.90）、富山県（37.88）の順となり、これまで流行の大きかった九州地方や関東地方をはじめ33都府県で減少がみられている。定点医療機関からの報告をもとに、定点以外を含む全国の医療機関をこの1週間に受診した患者数を推計すると約155万人となり、年齢群別では5～9歳約34万人、0～4歳約22万人、10～14歳約21万人、30代約20万人、20代約18万人の順であった。50代以下の各年齢層で減少がみられ、特に20代が前週の24万人から大きく減少した。

2010年第36週～2011年第5週までの期間中に国内では4,375検体のインフルエンザウイルスの検出が報告されており、AH1pdm 2,828件、AH3亜型（A香港型）1,358件、B型189件とAH1pdmが最多を占めている。一方、2011年第1～5週までの直近の5週間では、総検出報告数2,548検体中AH1pdm 2,043件（80.2%）、AH3亜型413件（16.2%）、B型92件（3.6%）であり、AH1pdmが約8割を占めている。

定点名	医療圏 疾病名	安芸 医療圏	中央医療圏			高幡 医療圏	幡多 医療圏	計	前週	全国(6週)	高知県(7週末累計) H23/1/3~H23/2/20
			中央東	高知市	中央西						
内科・小児科	インフルエンザ	23	94	226	81	69	210	703 ( 14.65)	937 ( 19.52)	106,077 ( 21.50)	5,029 ( 104.77)
小児科	咽頭結膜熱			2		2	13	17 ( 0.57)	6 ( 0.20)	1,106 ( 0.35)	72 ( 2.40)
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		12	22	8	2	13	57 ( 1.90)	30 ( 1.00)	6,143 ( 1.95)	320 ( 10.67)
	感染性胃腸炎	21	51	108	22	9	37	248 ( 8.27)	280 ( 9.33)	26,124 ( 8.31)	1,834 ( 61.13)
	水痘	1	13	25		22	4	65 ( 2.17)	49 ( 1.63)	5,279 ( 1.68)	455 ( 15.17)
	手足口病		2	6		5		13 ( 0.43)	4 ( 0.13)	347 ( 0.11)	47 ( 1.57)
	伝染性紅斑			1				1 ( 0.03)	7 ( 0.23)	1,409 ( 0.45)	24 ( 0.80)
	突発性発疹	1	2	2	2	1	2	10 ( 0.33)	4 ( 0.13)	1,438 ( 0.46)	61 ( 2.03)
	百日咳			1				1 ( 0.03)		61 ( 0.02)	6 ( 0.20)
	ヘルパンギーナ								2 ( 0.07)	44 ( 0.01)	12 ( 0.40)
	流行性耳下腺炎		1	1	2	4	2	10 ( 0.33)	3 ( 0.10)	2,333 ( 0.74)	27 ( 0.90)
	RSウイルス感染症	8	6	17		2	2	35 ( 1.17)	60 ( 2.00)	1,507 ( 0.48)	484 ( 16.13)
眼科	急性出血性結膜炎									13 ( 0.02)	( 0.00)
	流行性角結膜炎						1	1 ( 0.33)	1 ( 0.33)	345 ( 0.51)	8 ( 2.67)
基幹	細菌性髄膜炎									3 ( 0.01)	1 ( 0.14)
	無菌性髄膜炎			1				1 ( 0.14)		4 ( 0.01)	3 ( 0.43)
	マイコプラズマ肺炎			1				1 ( 0.14)	3 ( 0.43)	177 ( 0.38)	15 ( 2.14)
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)									7 ( 0.02)	( 0.00)
計 (小児科定点当たり人数)	54 ( 21.25)	181 ( 20.97)	413 ( 30.94)	115 ( 27.53)	116 ( 40.75)	284 ( 40.85)	1,163 ( 29.88)				
前週 (小児科定点当たり人数)	90 ( 30.50)	276 ( 28.78)	515 ( 37.25)	130 ( 32.13)	108 ( 36.00)	267 ( 38.85)		1,386 ( 34.35)	152,417	8,398 ( 216.17)	

定点当たり

第7週

定点名	医療圏 疾病名	安芸 医療圏	中央医療圏			高幡 医療圏	幡多 医療圏	計	前週	全国(6週)
			中央東	高知市	中央西					
内科・小児科	インフルエンザ	5.75	8.55	14.13	16.20	17.25	26.25	14.65	19.52	21.50
小児科	咽頭結膜熱			0.18		1.00	2.60	0.57	0.20	0.35
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1.71	2.00	2.67	1.00	2.60	1.90	1.00	1.95
	感染性胃腸炎	10.50	7.29	9.82	7.33	4.50	7.40	8.27	9.33	8.31
	水痘	0.50	1.86	2.27		11.00	0.80	2.17	1.63	1.68
	手足口病		0.29	0.55		2.50		0.43	0.13	0.11
	伝染性紅斑			0.09				0.03	0.23	0.45
	突発性発疹	0.50	0.29	0.18	0.67	0.50	0.40	0.33	0.13	0.46
	百日咳			0.09				0.03		0.02
	ヘルパンギーナ								0.07	0.01
	流行性耳下腺炎		0.14	0.09	0.67	2.00	0.40	0.33	0.10	0.74
	RSウイルス感染症	4.00	0.86	1.55		1.00	0.40	1.17	2.00	0.48
眼科	急性出血性結膜炎									0.02
	流行性角結膜炎						1.00	0.33	0.33	0.51
基幹	細菌性髄膜炎									0.01
	無菌性髄膜炎			0.20				0.14		0.01
	マイコプラズマ肺炎			0.20				0.14	0.43	0.38
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)									0.02
計 (小児科定点当たり人数)	21.25	20.97	30.94	27.53	40.75	40.85	29.88			
前週 (小児科定点当たり人数)	30.50	28.78	37.25	32.13	36.00	38.85		34.35		

## 2011年週報推移(定点当たり)

